

令和6年度当初予算 概要

令和6年2月
消防局

1 令和6年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和6年度 当初予算案(A)	令和5年度 当初予算(B)	増減 (A) - (B)
一般会計	3,454	2,448	1,006

※職員給与費を除く

2 主要施策

(1) 令和6年度 予算要求の方針

消防局では、「安らぐまち」の実現のため、消防車両の更新や人材育成などを通じた消防力のさらなる向上により、災害に強いまちづくりを推進します。

また、高齢化等による救急需要の増加に対応するため、デジタル技術を取り入れた救急体制の充実強化に取り組みます。

さらに、火災予防対策の強化に向け、映像や体験型訓練を取り入れた火災予防啓発を実施するなどとともに、消防団活動や市民防災活動への支援などを通じて、地域全体で防災力を高める取り組みを推進します。

(2) 令和6年度「安らぐまち」の実現に向けた主要施策

○あらゆる災害に対応するための消防体制の整備

新規 消防活動用ドローンの更新事業

2百万円

隊員が進入できない現場や消防ヘリコプターが活動困難な現場において、迅速な情報収集や要救助者の早期発見等が可能となる消防活動用ドローンが、更新期限を迎えるため、新たな機能を有した機体に更新する。



優れた環境適応性（防水性能・防塵性能）

出展：DJI ENTERPRISE

<https://enterprise.dji.com/jp/matrice-30>



拡充 常備車両更新事業

790百万円

消防力の整備指針に基づき、常備消防の車両を計画的に更新整備する。

令和6年度は、ポンプ車やはしご車など11台の車両を更新する。



【ポンプ車】



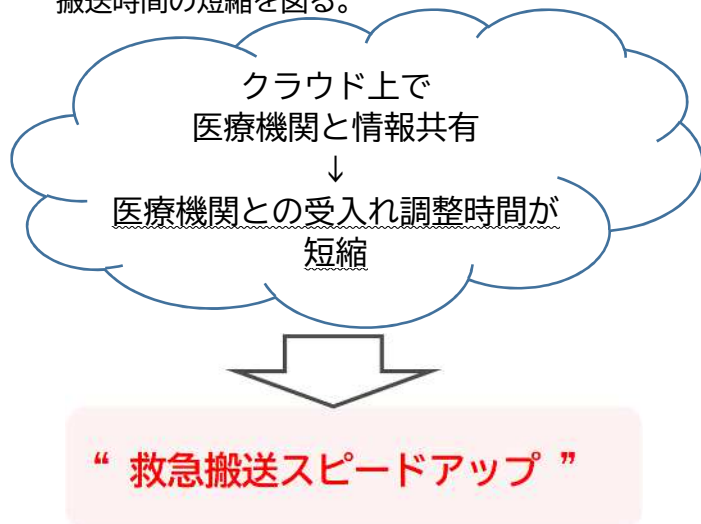
【はしご車】

- 継続**
- ・人材育成・能力向上
 - ・消防施設の整備 など

○救急体制の強化

新規 ICTを活用した救急搬送スピードアップ事業 **37 百万円**

「患者情報管理システム」を導入し、瞬時に患者情報を医療機関と共有することで、搬送時間の短縮を図る。



新規 救急需要増大に伴う救急車の増台事業 **43 百万円**

拡充 救急車の更新事業 **239 百万円**

救急活動体制を強化するため、新たに救急車1台を増台し、加えて6台を更新する。



継続

- ・救急救命士資格取得
- ・救急活動の質の向上
- ・市民による応急手当の普及啓発活動の推進 など

○火災予防対策の強化

- 継続** ・火災予防の推進
・防火査察の強化 など



○地域における災害対応力の向上

- 継続** ・消防団の充実強化
・いきいき安心訪問の推進
・市民防災活動への支援 など



3 主な事業

「安らぐまち」の実現

●生活基盤の「安心」を支える

新規 ・消防活動用ドローンの更新事業 2百万円

消防活動用ドローンの機能を最新のものとする事で、災害現場での情報収集能力を向上させ、効果的・効率的な災害現場活動を実施

継続 ・火災予防の推進事業 4百万円

木造の市場・商店街が密集する地域の火災を防ぐため、地域ぐるみの防火訓練や「防火指導員」による映像を用いた啓発を行うとともに、住宅用火災警報器の設置や交換等を促進する。

●暮らしの「安心」を支える

新規 ・ICTを活用した救急搬送スピードアップ事業 37百万円

救急需要の増加などの影響で、救急車が病院に到着するまでの時間が伸びているため、患者情報を早期に医療機関と共有できる「患者情報管理システム」を導入し、搬送の迅速化を図る

新規 ・救急需要増大に伴う救急車の増台事業 43百万円

高齢化の進展などにより、救急出動件数は令和5年に過去最高を更新し、今後も増加することが見込まれるため、救急車1台を増台する

拡充 ・救急車の更新事業 239百万円

更新年限を迎える救急車6台を更新し、適正な救急体制を確保

継続 ・救急救命士資格取得事業 15百万円

薬剤投与や気管挿管など、高度な処置が行える救急救命士を計画的に養成し、救急活動の質の向上を図る

【問合せ先(全体に関する事)】

消防局 総務課
澤田(課長)、武富(係長)
TEL 093-582-3802